

# 関西から大学生は何をしたくて

# 来ているのか？ ボランティアバスを振り返る



2011年3月以来、兵庫県西宮市にある関西学院大学から、のべ250人以上の学生が野田村を訪れました。

最初は、「ボランティア」として、被災地である野田村の復旧のお手伝いや仮設住宅で茶話会などをさせていただきました。その中で個人として野田村の方々と直接連絡を取りあい、何度も繰り返し来る学生もいました。また、ボランティアではなく個人として、たとえば卒業旅行に来る学生も出てきました。それは、野田村の人びとの魅力が合ったからだと思えます。

残念ながら、ボランティアバスは現在おこなっていませんが、今後、私たちが関西からどのように関わっていけばよいかをみなさんと一緒に考えたいと思います。

## プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

18:30 関西から学生は何をしたくて来ているのか？

—ボランティアバスを振り返る—

講師：関 嘉寛（関西学院大学社会学部 教授）

20:00 終了

講師紹介：関 嘉寛（せき よしひろ）

関西学院大学社会学部教授

ヒューマンサービス支援室長

北海道出身だが、大学時代から大阪で暮らす。

関西弁は未修得。学生と一緒に野田村を30回訪れている。



**参加  
無料**

主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

後援：チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会

国立天文台震災復興データセンター

# 4月11日(火)

# 18:30~20:00

## 場所：大阪大学野田村サテライト

お問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所：野田村大字野田 22-114-49

TEL：0194-75-4221

HP：<http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/>

